

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	前年に1回の災害(避難)訓練をホームのみで行っている。	夜間の火災をを想定した避難訓練や津波等の災害を想定した避難訓練を行う。	夜間火災を想定し職員の連絡体制、入居者の避難誘導手順、火災での近隣への協力体制や避難場所への協力体制の確認を行った上で避難訓練を実施したい。	6ヶ月
2	6	現在は身体拘束を解除しているが外部評価時、身体拘束を行っていて、具体的な実施した根拠の記載やアセスメント内容不十分で安易な拘束実施にとられてしまうと指摘があった。	身体拘束ゼロに向けて施設で取り組む。	身体拘束廃止に向け指針やマニュアルを作成し、定期的に拘束に繋がるような事案がないか確認し必要時には検討を行う。	3ヶ月
3	1	地域密着型サービスの意義を含めた理念を作成しているが、職員の共有・実践までとはなっておらず、理念の再度見直しと共に共有・実践を目指す意向。	地域との関係も意識した内容も含め、誰にでも分かり易く馴染みがある理念を作る。	ミーティングで意見交換し理念を作る。各職員に理念作成についてアンケート取り、ミーティングで発表し理念作成を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。